

五戸総合病院地域医療研修を終えて

2022年2月

順天堂大学医学部附属浦安病院 初期研修医2年

稲葉 慎太郎

この度は地域研修の受け入れをしていただき誠にありがとうございました。新型コロナウイルスが再流行する難しい状況の中、1ヶ月間という短い時間でしたが貴重な経験をさせていただきました。私自身、旅行以外での雪国での生活が初めてということもあり不安もございましたが、職員の皆様も含め、温かい方ばかりで大変充実した1ヶ月となりました。

私は循環器内科に入局するため、今回内科での研修をさせていただきましたが、外科手術にも参加させていただきました。

内科での研修では主に外来を行い、訪問診療に同行させていただきました。今までの研修では自分で外来を行う機会等は無かったため、降圧薬の用量の把握が不十分であったり、入院と異なり短期的なフォローが出来ない中で新規処方をどうするかなど、様々な発見がございました。訪問診療は特にそうですが、医師、専門医の少なさから診察の範囲が広く、専門分野以外の知識を必要とする場面も散見しました。その分、一人の医師の与える影響が大きく、正に地域を支える医療を実践されている先生方を見て、尊敬の念を抱きました。今まで大学病院でしか研修をしたことがなかったので、こういった医療を体験することができて、本当に良かったです。

また、午後の外科手術では消化器外科を中心にいらさせていただきました。私自身、外科の研修の機会が乏しく新鮮なものばかりでした。ご迷惑をおかけした点もあったと存じますが、来年度以降は絶対にできない経験となりました。手術の際の気管挿管や閉創等、今後実際に行っていく手技もやらせていただき、直接腹部の解剖なども勉強することができました。

平日の研修以外にもご飯を食べに行ったり、スノーボードに行ったりと東北の冬を体験させていただきました。なかなか東京では得られない経験であり、また遊びに来たいと思っております。

最後になりますが、1ヶ月の研修でご指導いただいた先生方、看護師・事務の皆様、大変お世話になりました。今回の経験を今後の診療に活かして精進して参ります。誠にありがとうございました。